

健康生活

<健康状態の維持・改善>

・健康状態の把握と対応

子どもたちが心身ともに健やかに成長し、安全に暮らせるよう、子どもたちの心身のわずかな変化にも敏感に気づき、適切な対応を行います。特に、言葉で自分の気持ちを伝えにくい子どもたちに対しては、より丁寧な観察を行います。

【支援内容】

- ・体の健康:健康観察、健康状態の維持、運動の機会の提供
- ・心の健康:感情コントロール、ストレスへの対処、リラクゼーション
- ・安全な生活:安全意識(けがや事故防止のための行動)、危険回避、緊急時の対応(避難訓練などの防災訓練)

<生活習慣や生活リズムの形成>

子どもが健やかに成長するために、生活習慣の確立、食に関する能力の育成、そして安全な生活環境の整備という3つの側面から支援を行います。

【支援内容】

- ・生活リズムの確認・形成
- ・食育
- ・食事の姿勢保持、箸、フォーク、スプーンの使い方、自助具の検討
- ・季節に合った衣服の調整
- ・安全な環境づくり
- ・感染予防

<基本的生活スキルの獲得>

・生活に必要な基本的技能の獲得

子どもが日常生活を送る上で必要な基本的なスキルを身につけることができるよう、適切な環境を整え、一人ひとりの成長に合わせた支援を行います。

【支援内容】

- ・ライフスキルトレーニング(食事、排せつ、衣服の着脱、清潔保持、身だしなみ、洗濯たたみ、整理整頓、持ち物管理、金銭管理、時間管理など)
- ・公共交通機関の利用

・構造化等による生活環境の調整

子どもたちが遊びや体験を通して自然に学べるような環境を作り、時間や空間をわかりやすく整理して、安心して過ごせるように支援します。

【支援内容】

- ・視覚的支援(写真、絵、文字など)
- ・スケジュールの提示
- ・空間を分ける(運動エリア、学習スペース、遊びコーナーなど)

<生活におけるマネジメントスキルの育成>

障害が日常生活にどのような影響を与えるのかを深く理解する。補助機器の種類や使い方、注意点などを理解し、子どもが安全に、そして効果的に利用できるように支援します。状況の変化に応じて、自分の行動や感情を調整し、周囲の人々に適切な支援を求めることができるようにします。自信と自己肯定感を高めていきます。

【支援内容】

- ・行動調整(目標設定と振り返り、計画性、時間管理)
- ・自己選択、自己決定支援

運動・感覚

<姿勢と運動・動作の基本的技能の向上>

子どもが日常生活をスムーズに送るために必要な体の機能を向上させる支援を行います。

【支援内容】

- ・姿勢保持、バランス能力の向上
- ・日常生活動作スキルの向上（食事動作、靴や衣服の着脱、更衣動作、排せつ動作、書字動作、はさみ）
- ・ストレッチ
- ・筋力の維持・向上

<姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用>

子どもが自分自身で姿勢を保ったり、様々な動作を行ったりすることが難しい場合に、特別な道具や器具（補助用具）を使って、これらの動作をサポートします。

【支援内容】

- ・自助具の活用
- ・机や椅子の調整

<身体の移動能力の向上>

子どもが自分自身で場所を移動したり、様々な場所へ出かけることができるようにするための支援を行います。

【支援内容】

- ・施設内以外の様々な場所（階段・坂・砂利道、でこぼこ道）の移動スキル向上
- ・様々な場所への外出

<保有する感覚の活用>

子どもが持つ五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）に加えて、体の動きやバランスを感じる固有覚や前庭覚といった感覚を、遊びを通して最大限に引き出す支援を行います。

【支援内容】

- ・視覚聴覚触覚を活用するようなゲームやクイズなどの遊び
- ・公園遊び
- ・調理
- ・感覚遊び（粘土、スライム、水遊びなど）
- ・運動遊び（鬼ごっこ、縄跳び、ボール遊びなど）
- ・人との距離感を学ぶ機会の提供
- ・力加減を学ぶ機会の提供
- ・バランス感覚を養う遊びの提供
- ・制作活動

<感覚の補助及び代行手段の活用>

自分の持っている感覚を最大限に活用し、周囲の状況をより良く理解し、生活を豊かにするための支援を行います。

【支援内容】

- ・視覚支援（PECS、スケジュール）
- ・ICT機器の操作（タブレット、スマートフォン、パソコン）

<感覚の特性への対応>

感覚の特性を持つ人に対して、環境を調整することで、不快な刺激を減らし、快適に過ごせるように支援する

【支援内容】

- ・活動に集中しやすいような環境調整
- ・イヤーマフの利用

・認知行動

<認知の特性についての理解と対応>

子ども一人ひとりが持つ、情報を受け取り、理解し、処理する際の個性や特徴（認知の特性）を理解し、その子に合った方法で学びをサポートします。

【支援内容】

- ・継次処理：手順書の活用
- ・同時処理：完成品を見せる、全体像を伝える
- ・写真や絵カードの活用
- ・具体的に伝える
- ・環境調整
- ・PECS
- ・スケジュールの活用

<対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得>

・感覚の活用や認知機能の発達

子どもたちが生まれ持った五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）を最大限に活用し、それらの感覚から得られる情報を基に思考力や判断力などの認知機能を育てていくための支援を行います。

【支援内容】

- ・スケジュールや手順書など、適切な情報量の提示
- ・知覚から行動への認知過程の発達

過去に得た情報と、現在得た情報を結びつけ、周囲の状況を正確に把握し、その状況に合わせた適切な判断や行動ができるよう情報処理能力の向上を図ります。

【支援内容】

- ・SST
- ・コミック会話
- ・変化への対応
- ・情報の整理と関係性の理解
- ・様々な体験活動（買い物、外食、社会見学など）
- ・社会通念や各場面でのルールを理解

・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成

物事の属性や特徴を正確に捉え、様々な概念の理解し、状況に応じた適切な行動を促します。

【支援内容】

- ・マッチング
- ・時計やカレンダーの理解
- ・お金のトレーニング
- ・プリント学習
- ・様々な体験活動（自然体験、調理、制作など）

<行動障害への予防及び対応>

感覚や認知の偏りや、コミュニケーションの困難性から起こる問題行動を未然に防ぎ、適切な行動ができるように支援します。

【支援内容】

- ・環境調整
- ・代替行動を教える
- ・自己認知支援

・言語コミュニケーション

<コミュニケーションの基礎的能力の向上>

言葉だけでなく様々な手段を使って、自分の気持ちを伝えたり、相手の思いを理解したりする能力を育てます。

【支援内容】

- ・日常の簡単な会話のやり取り（挨拶など）
- ・語彙力UPや文字認識のためのプリント学習
- ・言葉遊びやコミュニケーションゲーム
- ・非言語コミュニケーションの活用
- ・興味関心を用いた会話
- ・PECSなどの絵カード

<言語の受容と表出>

言葉や文字を使って人とコミュニケーションをとる力を育てます。

【支援内容】

- ・グループワークなどの集団活動
- ・絵本の読み聞かせ
- ・発表の機会の場の提供

<言語の形成と活用>

言葉のやり取りで、身の回りのものや出来事、自分の行動について理解を深め、言葉で表現できるようにサポートします。

【支援内容】

- ・行動や気持ちを言語化する
- ・具体的な体験と言葉を結びつける
- ・カードボードゲーム

<人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得>

発達段階に合わせて、周りの人と一緒に行動したり、同じものに興味を持ったりする力を育てて、周りの人とのやり取りを通して、関係を築き、社会性を身につけます。

【支援内容】

- ・興味関心を使った遊びの場面設定
- ・ルールのある遊びの場面設定
- ・相手の行動や意図の理解できるような言葉かけ

<コミュニケーション手段の選択と活用>

子どもの発達段階に合わせたコミュニケーションの手段を用いて、人が置かれている状況や状況の変化を理解し、自分の気持ちを言葉や行動で相手に伝えることができるように支援します。

<状況に応じたコミュニケーション>

相手との関係性や状況に合わせて、場面や状況に応じたコミュニケーションを自分から取れるように支援します。

【支援内容】

- ・ごっこ遊び
- ・ロールプレイ
- ・SST
- ・様々な場面での体験活動

<読み書き能力の向上>

何らかの学習に困難を抱えている子どもに対して、その子一人ひとりの特性に合わせた、効果的な読み書きの学習のサポートをします。

・人間関係・社会性

<アタッチメント(愛着)の形成と安定>

・アタッチメント(愛着)の形成

子どもが基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行います。

【支援内容】

- ・安心できる環境、仲間、スタッフ
- ・小さな成功体験を経験
- ・自己肯定感を高める

・アタッチメント(愛着)の安定

自身の感情が崩れたり、不安になった際に、大人が相談にのることで、安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるよう「安心の基地」の役割を果たせるよう支援します。

【支援内容】

- ・安心できる環境、仲間、スタッフ

<情緒の安定>

自分の感情や身体感覚に気づき、それらの変化にうまく対応できるようになるための支援を行います。

【支援内容】

- ・自分の感情に目を向ける
- ・感情のコントロール方法を学ぶ機会の提供
- ・切り替えの練習

<他者との関わり(人間関係)の形成>

表情、言葉、行動から相手の気持ちや考えを理解し、先生や友達からの指示やアドバイスを聞き入れたり、求められたことを受け止め、適切な行動ができるように支援します。

【支援内容】

- ・SST
- ・コミック会話
- ・状況や場面理解のための支援

<遊びを通じた社会性の促進>

様々な遊びを通して、他者との関わり方、協調性、ルールを守る大切さなどを学び、社会生活を円滑に送るための基礎となる力を養います。

【支援内容】

- ・発達段階にあわせた遊びの提供(個別、小集団、集団)

<自己の理解と行動の調整>

自分の強みと弱みを理解し、自分自身を肯定的に受け入れることができるように支援し、自分の気持ちや感情をコントロールし、状況に合わせて適切な行動ができるように導きます。

【支援内容】

- ・自己認知支援

<仲間づくりと集団への参加>

一人ひとりの個性を尊重しながら、集団生活に適応できるように、様々な活動を通してルールや相手の気持ちを理解し、良好な人間関係が築けるよう支援します。

・家族支援

<アタッチメント(愛着)の安定>

【支援内容】

・送迎時、連絡帳などを通じて、お子様の頑張りを伝える

<家族からの相談に対する適切な助言等>

【支援内容】

・ご家族に寄り添い安心して生活を送れるようにするため、必要に応じてご本人様の情報共有や相談援助等を実施

・保護者様の預かりニーズに対応し、育児負担軽減

<障害の特性に配慮した家庭環境の整備>

【支援内容】

・特性の理解に向けた研修等の資料の配布

・子どもの障害特性に合った家庭環境整備のアドバイス

・移行支援

<放課後等児童クラブ等への移行支援、ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備>

【支援内容】

・ライフステージの切り替えを見据えた取り組みや情報共有

・相談支援専門員との連携

<放課後等児童クラブ等と併行利用している場合における併行利用先との連携>

【支援内容】

・併行利用先関係者との情報共有

・利用時間等の調整

<同年代のこどもをはじめとした地域における仲間づくり>

【支援内容】

・地域社会に参加しやすい環境を整えるために必要に応じて関係機関との連携

・図書館や体育館など地域の公共施設を利用し、地域資源の活用

・地域支援・地域連携

ご本人様の支援体制の構築を図るため、必要に応じて学校等や支援機関等との連携を実施します。

ご本人様・ご家族に関する機関と、支援方針を検討するための会議を開催します。

ご本人様・ご家族のことにに関して、医療機関等の専門機関や児童委員などの地域関係者と必要に応じた連携を行います。

・職員の質向上に資する取り組み

内部研修、外部研修に積極的に参加し、職員の質の向上を目指します。

毎日ミーティングを行い、日々の振り返りや情報共有を行っています。

資格取得支援制度(社内)を利用し、職員の専門性を高めます。

働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進に努め職員のストレス軽減を図っています。

作成日 令和6年11月1日